

物理学コース：平均点は 24.7 点，最高点は 45 点でした．人数分布は以下の通りです：

点数	～ 15	16 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 45
人数	5	9	10	4	5	4	1

問題ごとの平均点は以下の通りです：

問題	1-(1)	1-(2)	1-(3)	2-(1)	2-(2)	3-(1)	3-(2)	4-(1)	4-(2)	5
平均	5.0	3.7	3.0	2.6	1.1	3.2	2.8	1.8	0.8	0.6

化学コース：平均点は 19.4 点，最高点は 34 点でした．人数分布は以下の通りです：

点数	～ 15	16 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	31 ～ 34
人数	12	9	6	4	3

問題ごとの平均点は以下の通りです：

問題	1-(1)	1-(2)	1-(3)	2-(1)	2-(2)	3-(1)	3-(2)	4-(1)	4-(2)	5
平均	4.9	2.6	4.0	1.8	0.9	2.4	2.3	0.5	0.1	0.1

この講義だけを見れば物理学コースと化学コースに条件の差はありませんが，コースごとに個別の事情がありますから，両者の比較に意味はないと考えられます．コース内で自己評価する上での参考にしてください．

以下のような基準で採点しています．

問題 1 部分点なしです．「1 次独立でない」は「1 次従属である」でも正解です．

問題 2 (1) は部分点なしです．(2) は「直和でない」と書かれていれば 2 点つけています． $W_1 \cap W_2$ の基底を正しく求められた人はいませんでした．

問題 3 u_1 が求めれば 1 点， u_1 と u_2 が求めれば 2 点， u_3 まで求めれば 5 点です．約分・有理化などをして見やすい形にするのが望ましいと思いますが，そうしていなくても正しければ正解としました．

問題 4 「和またはスカラー倍について閉じていない」ことを説明しようとしていれば，程度に応じて 2～4 点の部分点をつけている場合があります．

問題 5 $|A|^2 = 1$ までできた場合は 2 点つけました．答は $|A| = \pm 1$ です．絶対値の記号を使ってはいませんが，行列式が負の値になることはあります．解答例を参照してください．

解答例は下記 URL に置いてあります．

採点には万全を期しましたが，万が一誤りがあると思われる場合は，早めに申し出てください．答案は全てコピーを取り保存していますので，ただちに調べます．

レポートも含めた現在までの点数を見て，あとどれくらいの点数を取りたいか / 取らなければならないかを確認し，今後の学習のやり方を考えてください．追試などの救済措置は一切取らないことは明言しておきます（レポートで十分なはず）．

とはいっても，かなり厳しい状況の人もいることを踏まえ，レポートをあと 2 回，既に出題した分も含めて計 3 回課すことにします．各 10 点で採点し，3 回のうち出来のいい方から 2 つを取って，計 20 点満点とします．第 2 回は 11/29 に出題します．

(11/29)